

震度の豆知識

沖縄気象台

●震度とマグニチュードの違い

震度は、ある場所での地震による揺れの強さをあらわし、マグニチュードは地震そのものの大きさ（規模）をあらわします。

マグニチュード
=地震の大きさ

震度
=揺れの強さ

●震度観測体制

気象庁が発表する震度は、以前は気象庁職員の体感や、まわりで発生した被害の様子などから決めていました。平成8年に地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」で震度を観測する体制に移行し、より迅速に全国の震度をお知らせできるようになりました。2025 年（令和 7 年）9 月時点で、気象庁が発表する震度観測点は、全国で 4367 箇所、沖縄県では 84 箇所となっています。



●震度階級

震度の強さを表す震度階級も最初は「微震」「弱震」「強震」「烈震」の4階級で始まり、数回の変更を経て、1996 年（平成 8 年）には現在の「震度 0」「震度 1」「震度 2」「震度 3」「震度 4」「震度 5 弱」「震度 5 強」「震度 6 弱」「震度 6 強」「震度 7」の 10 階級としています。この 10 階級に対して気象庁は実際にどのような現象被害が発生するかをあらかじめ示しておく「気象庁震度階級関連解説表」を作成しました。この表は主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。定期的に内容を点検し、新たな事例や建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合は表の内容を変更します。

6 強

【震度 6 強】

- はわないと動くことができない飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

震 度 に つ い て (気 象 庁 H P)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/index.html>


地震に関する情報は

沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄気象台

Q 検索

